

議事録（概要）

会議名	令和4年度第1回芦屋町男女共同参画審議会					
会場	芦屋町役場4階44会議室					
日時	令和4年11月22日（火）午後6時30分～7時25分					
委員の出欠	会長	森山 真奈美	欠	委員	田中 守成	欠
	副会長	田中 信代	出	委員	鹿島 由美	出
	委員	上村 定紀	欠	委員	北 陽一	欠
	委員	篠原 美紀	出	コンサル	大西 美樹	出
	委員	豊岡 正幸	出	事務局	3名	出
件名・議題	1. 生涯学習課長あいさつ 2. 議題 第3次芦屋町男女共同参画推進プラン（素案）について 3. その他 委員報酬・費用弁償の支払いについて					
合意事項 決定事項	第3次芦屋町男女共同参画推進プラン（素案）が決定した。					

【議事録】

1. 生涯学習課長あいさつ

○生涯学習課長より挨拶が行われた。

2. 議題

○第3次芦屋町男女共同参画推進プラン（素案）について、事務局より説明を行った。

○質問・意見

（委員）

男性の育児休業取得率100%は具体的にどのくらいの人がどのくらいの日数を取られたのか。

（事務局）

育児休業の種類として出産の際の育児休業、1年などの長期的なものとは1日の勤務時間を短くする時短のどれかを取っている人がいる。対象職員は全て何らかの休業を取っている。

以前は、男性はほとんど取らなかったが制度も変わり取りやすくなった。男性の意識も変化しており、1年間取った人もいる。

（委員）

とてもいいこと。

(委員)

芦屋町は働きやすい職場。とても助かっていると思う。

(事務局)

管理職がしっかり理解した上で、みんなで協力し合ってやっていくことにも繋がる。色々な効果が出てくる。

(委員)

中学校の制服が今年度から変化しており、女の子がスラックス姿で登校している。制服が変化していることを知らない人が地域に多いため、性的指向や性自認に関する理解なく、不思議に思っている人がいる。制服などの見た目からジェンダーの認識を地域に広めていくことができるが、スラックス姿で登校している女の子は何人もいるのか。

(事務局)

一人ではない。複数人がその時の気分に合わせてスラックス姿で登校している。

(委員)

気候に合わせて選択している人もいる。男子でスカートをはいている人はいるのか。中学校の取り組みは素晴らしい。

(事務局)

男子のスカートは今のところいないが、選択的にはあり。学校教育の現場でも性自認に関することは何かしらアプローチを考えて頂けるのではと思っている。

(委員)

あらゆる暴力の根絶と被害者支援について、SNS による人権侵害が多くなっているが、学校教育でも SNS に対するアプローチが必要ではないか。

(事務局)

SNS による暴力へのアプローチは、夫婦間の DV や恋人同士のデート DV の部分に含めている。デート DV は中学生でも起こりうることであるため、啓発内容として働きかけていく必要はあると思う。

(委員)

SNS による性被害はあらゆる暴力に入るのでは。どこに位置付けるのか。

(コンサル)

性暴力や DV の手段として SNS が使われる時代になっている。SNS に上げること自体が性暴力だということもあるが、SNS 自体が問題ではなく使い方が問題になっている。そのため、メディアリテラシー教育が大切であるが、それは既に学校教育でもされている。性暴力のところに書き込むのは委員の意見に寄り添ったかたちになるのかもしれないが、それ自体を性暴力と言ってしまうのには少し問題があるのではと思う。

(委員)

SNS はひとつの手段。正しい使い方を教えていくことが大事。

(事務局)

P64 の「❶あらゆる暴力の根絶」-「❶暴力を根絶するための基盤整備」の部分で SNS を含めた暴力を許さない意識啓発を行っていく。

(委員)

P64 の❶-❷に「デート DV などの啓発」とあるが、デート DV を推奨しているように捉えてしまうのではないか。

(事務局)

デート DV 防止に向けた啓発を推奨している。第 2 次計画では「DV 根絶に向けた～」という表現になっていた。

(コンサル)

誤解を招かないように表現を「デート DV 防止に向けた啓発」に修正する。

3. その他

○事務局より、委員報酬・費用弁償の支払いについて説明を行った。

○質問・意見

なし